

子どもたちといっしょに

「うみのかくたい」大塚勇三 & 丸木 俊之
《子どものとも》傑作集 (福音館書店)



ひろいうみのうえをすすんで
いた / せきのふねのかんぱんでい。ゆうがたになると、かくたいがからそうを
します。おんかくがはじまると、うみのさかなたちが、ふねのまわりにあつまて
きます。ところがあつて、とつぜんあらしがやめてきて、ふねのどこかにあながあ
いて、みずがながれこんできました。----- さあ、どうなるのでしょうか。

民話の再話(スホの白い馬)や、各国の物語の訳(長つ下のピピ、トウヤの冒険)を
たくさんしている作者の珍らしい創作ものです。絵の丸木俊さんは、埼玉県東松山
市で「丸木美術館」に 原爆の図を架けている洋画家です。この他にも、たくさんの
絵本(つづじのむすめ・12のつまのおくりもの・おしさま・おきなわ島のこえ etc.)に、ダイ
ナミックな絵を描いています。《企画コーナー「世代を越えて読み継がれる絵本」にも
置いてあります。》ご家族でお楽しみください。

ハルカキタカハルカキタカドユニキタカマニキタカサトニキタカニモキタカゲンキタカソウ



第18回読書会 乙武洋匡著 日時・4月28日(日)
「五体不満足」(講談社) 1:30~3:30
当館では、昨年以來、197回 場所・白根学習館
の利用があった。ゲストセー 1L-42
本です。色々考へさせら (しろね図書館 共催)
れし、明るい気持ちにもな (しろね図書館友の会)
る本です。ぜひご参加下さい。希望の方はカウンターまで。

こんな本ある?
こんな事知り
たい。
この事にフッて
言いたいと思
つたら、ご相談
下さい。(カウンター)

4月の行事		ブックバス予定	
3 (水)	絵本のじかん 3:00~	19 (金)	白根小 13:00~14:00 小枝小 14:30~15:30
6 (土)	おはなし会 3:00~	20 (土)	新飯田女子児童館 10:00 おはなし
10 (水)	絵本のじかん 3:00~	23 (火)	子ども読書の日 (7月プレゼント)
11 (木)		24 (水)	絵本のじかん 3:00~
12 (金)		25 (木)	
13 (土)	おはなし会 10:00 おはなし会 3:00~	26 (金)	
17 (水)	絵本のじかん 3:00~	27 (土)	おはなし会 10:00 おはなし会 3:00
18 (木)		28 (日)	第18回読書会 しろね図書館友の会総会

しろね図書館だより

発行 白根市立図書館
No. 23
平成14年4月1日

ご利用ありがとうございます。新しい年度を迎えました。出会いと別れ、そして
新生活への探訪の季節です。皆さま、皆さまのお幸せな新年度となりますよう、お
祈りしております。

3月の
来館者 --- 13,961人
貸出冊数 --- 13,939冊
予約件数 --- 180件
ブックバス利用者 --- 277人
貸出冊数 --- 892冊

リクエスト情報(しばらくお待ちください)
1位♥ハリー・ポッターと秘密の部屋(23人)
2位♥ハリー・ポッターと賢者の石(19人)
3位♥ハリー・ポッターとアズカバンの囚人
4位♥4と4尋の神隠し(10人) (11人)
5位♥血月(6人)

「しろね図書館」は、今年度もこのメンバーで運営します。お願いします。

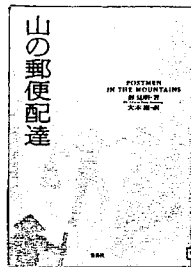
Q&Aコーナー

どんな人かな?
メンバーにちがときいて
みました。

① 生れ星座は? ② 今、好きな色は? ③ 今、好きな作家は? ④ 今、「この一冊」の本は? ⑤ 趣味は何	館長(司書) 栗村 節子 ① 双子座 ② 水色(お好み)色 ③ 夏目漱石 ④ 片思いの屋敷 ⑤ 物語を書くこと	副館長(専任係) 関根 律 ① 水瓶座 ② 青 ③ 司馬遼太郎 ④ 豊かやの精神分析 ⑤ 板・食べ歩き	司書 由野 幸子 ① 魚座 ② 白 ③ ジョン・アーヴィング ④ クド堂信一への ⑤ テニス
司書 野沢 淳子 ① 山羊座 ② 青 ③ マカシ・マセ-&クニ ④ 「冗」 ⑤ ひだまりの昼寝	司書 小林 友治 ① 魚座 ② 青 ③ 司馬遼太郎 ④ 「イシ」 ⑤ スキューバ・登山・旅行	司書 大野 恵子 ① 乙女座 ② モスグリーン ③ レオ・レオニ ④ 71歳の人間としてあつか ⑤ 散歩 好きな場所	司書 中川 沙穂里 ① 牡牛座 ② オレンジ ③ 江國香織 ④ 「クローディアの秘密」 ⑤ 旅行

『山の郵便配達』

彭見明(ボン・チエンミン) / 作 大木 康 / 訳 (集英社)



この本は、映画化された、同名の「山の郵便配達」(中国映画)の原作です。父と子の絆が描かれており、車も通らない山奥の村々に来る日も来る日も郵便を配達する年老いた父の代わりにその息子が山の郵便配達になるという物語だ。そして、こう始まる

父が息子に言った。

「さあ行こう。もう時間だ」

空はまだ暗い。山も、家も、川も、田畑も、・・・

書き始めからなんとも吸い込まれるような文章だ。本当に暗い、まだ朝日も昇っていないのだろう。今では、郵便は機械で宛先を判別し、車で届けられるというのが一般的だ。しかし、この中ではそういった近代的社会からかけ離れた風景が描かれている。しかし、決して物語の時代背景が現代でないと言っているわけではない。その山奥という状況であるからこそ、郵便を届けるという父親の責任感をひしひしと感じるし、郵便配達の業務を超えた人と人のつながりをも感じてくる。また、父は自分がそれまでに経験した仕事の全てを息子に託そうとしているし、息子ははじめて目にする父の仕事に尊敬をしている。そして、ついに役割交代の日が来る。物語の中には犬が出てくる。犬は今まで父の相手役としていたのだが、途中から息子の力になろうとしている。犬は郵便局長と同じなのだ。犬が息子を配達員と認めた時点で父の仕事は終わっている。なんとも厳しいようだが、この犬を通して役割交代を示している。

本自体は短篇作品集で、この他に「沢国」「南を避ける」「過ぎし日は語らず」「愛情」「振り返ってみれば」という作品が収録されています。映画を見た人も見ていない人も昔なつかしい風景を思い出すことができるでしょう。

(一般 923.7米)

[司書・小林友治]

土と林の生きものたち... 簡単手作りクッキー&ケーキ... 全国学校ピオトープ ネットワー...

「クラブパート」オートフリート・フロイスラー

(借成社)

書棚の隅に日暮しの中、学習館に七人の参加者が集まった。辰也「この本を読むのは三度目。さすがに最初の頃よりは感動が薄くなったね。でも魔法が出てくる感じがおもしろい。」...

お知らせコーナー

- 貸出カードの紛失届けが多くなっています。新館開館以来、カードの再発行は無料にしましたが、今年度から再発行は100円の実費をいただきます。...

この後も談笑は続き、日は降っていった...